

3 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標

(1) 計画期間の目標

ア 抑制目標

<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出の量の抑制目標(二酸化炭素換算)		
基準年度の排出量	目標値	削減率
3,009.6 t	2,864.9 t	4.8 %削減

<input type="checkbox"/> 温室効果ガスの原単位排出量の抑制目標(二酸化炭素換算)			
指標	基準年度の原単位排出量	目標値	削減率
当たり		<input checked="" type="radio"/> t <input type="radio"/> kg	%削減

イ 基準年度及び目標年度

基準年度	目標年度
平成13年度	平成16年度

ウ 目標設定の考え方

目標設定にあたっては、事務所ビルという特徴を生かしつつ、社内における以下のプログラムとの整合性を考慮した。

エネルギー削減プログラム (Energy Conservation Program)

毎年、あらたな削減施策を打ち出し、対前年との消費量、差異を比較し、削減施策の効果測定を行う。電気エネルギーの削減は対前年比マイナス4%を目標にしている。この場合、ビジネスの拡大によるエネルギー量の増加は除き、純粋な省エネ施策による削減を4%に設定している。

固形廃棄物のリサイクル率向上と廃棄物管理プログラム

すでに実施しているマテリアル(ケミカル/サーマル)リサイクルを含めると99%超のリサイクル率を達成している。今後はこれを維持し、OA用紙/コピー使用量、廃棄物総量の削減を目標としている。

ISO14001認証取得(2001年11月)後の諸目標プログラム

事業所全体および入居部門独自で、環境に大きな負荷を与える「著しい環境側面」を洗い出

(2) 長期的目標

1. 電気エネルギーの一層の削減
 - ・最小電力PCへ順次更新。
 - ・設備更新時における省エネルギーシステムの採用。
 - ・自然光エネルギー電力の購入。
 - ・グリーン電力の購入。
2. 廃棄物総量の削減
3. 在宅勤務の拡大による輸送エネルギーの削減

備考 1 原単位排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する事業所の床面積、製品の出荷量その他の指標に係る単位量当たりの温室効果ガスの排出の量をいう。

2 基準年度とは計画期間の初年度の前年度をいい、目標年度とは計画期間の最終年度をいう。